

## 2. 火山の概況

(平成17年3月10日～平成17年3月16日)

雌阿寒岳、十勝岳及び樽前山では、噴煙の状況に変化はなく、火口の高温状態が続いていたと推定される。

浅間山では、多量の火山ガスの放出が続き、火映がほぼ連日観測された。火山活動度レベル(以下レベルと記載)は3。

三宅島では噴煙活動が継続し、地震活動が一時活発になった。

福徳岡ノ場では変色水が確認された(期間外)。阿蘇山では熱的な活動のやや活発な状態が続いた。レベルは2。

霧島山では御鉢の噴気活動がやや活発であった。御鉢のレベルは2、新燃岳のレベルは1。

口永良部島では地震活動のやや活発な状態が続いた。レベルは2。

諏訪之瀬島では噴火が発生した。レベルは3。

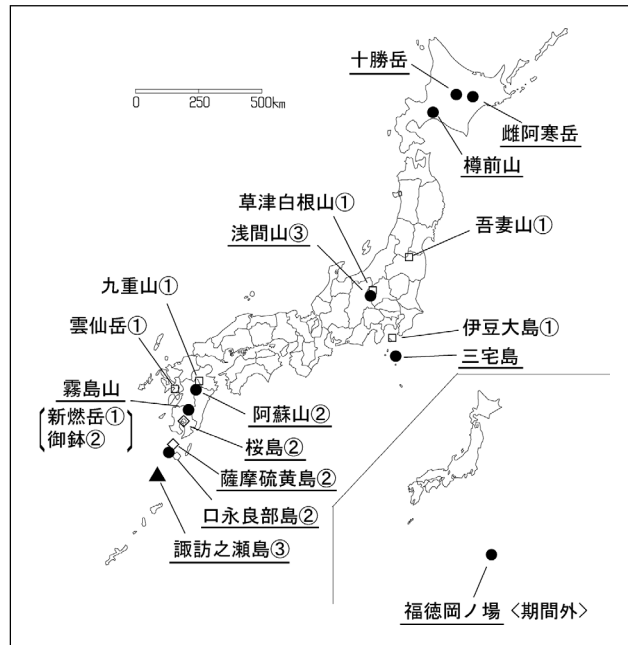


図1 各火山の今期間の火山活動度レベル及び記事を掲載した火山(火山名に下線)

号	対象期間	雌阿寒岳	十勝岳	樽前山	浅間山	三宅島	福徳岡ノ場	阿蘇山	霧島山	桜島	薩摩硫黄島	口永良部島	諏訪之瀬島
11	3/10-3/16	●	●	●	●	●		●	●	◇	◇	●	▲
10	3/3-3/9	●	●	●	●	●	●	●	◇	◇	◇	●	▲
9	2/24-3/2	●	●	●	●	●		●	●	◇	◇	●	▲
8	2/17-2/23	●	●	●	●	●		●	●	◇	◇	●	▲
7	2/10-2/16	●	●	●	●	●		●	●	◇	◇	●	◇

号	吾妻山	草津白根山	浅間山	伊豆大島	九重山	阿蘇山	雲仙岳	霧島山(新燃岳)	霧島山(御鉢)	桜島	薩摩硫黄島	口永良部島	諏訪之瀬島
11	①	①	③	①	①	②	①	①	②	②	②	②	③
10	①	①	③	①	①	②	①	①	②	②	②	②	③
9	①	①	③	①	①	②	①	①	②	②	②	②	③
8	①	①	③	①	①	②	①	①	②	②	②	②	③
7	①	①	③	①	①	②	①	①	②	②	②	②	③

表1 最近1か月に記事を掲載した火山(左)及び各火山のレベル

### 注1 記号の意味

- ▲: 噴火した火山
- : 活動が活発な状態にあるか、もしくは観測データ等に変化があった火山
- ◆: 前期間まで▲や●で掲載し、その後の状況等を掲載した火山
- ◇: その他記事を掲載した火山
- : 記事を掲載していないレベル対象火山
- ①②等の丸付き数字: 火山活動度レベル

注2 記事は、▲、●及び◆(注1参照)に該当する火山及びレベル2以上の火山について掲載する。その他の火山については、特記事項のある場合に掲載する。

注3 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、変化があった観測データ項目を示す。

### ● 雌阿寒岳 [熱]

ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていたと推定される。

### ● 十勝岳 [噴煙・熱]

62-2 火口の噴煙活動は活発な状態が続いており、高温の状態が続いていたと推定される。遠望カメラによる噴煙の高さは火口縁上おおむね 200mで推移した。

### ● 樽前山 [熱]

A火口およびB噴気孔群の噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていたと推定される。

### ● 浅間山 [火山ガス・噴煙・火映・地震・微動] レベル3 (山頂火口で小～中噴火の可能性)

今期間、噴火は観測されなかった。

10日に行った火山ガス観測では、二酸化硫黄の放出量は1日当たり3,300～4,900トンで引き続き多い状態であった(前回(1月31日)は2,400～3,800トン)。

白色噴煙は山頂火口より連続して噴出しており、最高で火口縁上約400mまで上がった。また、微弱的な火映はほぼ連日山麓の高感度カメラで観測された。

火山性地震は1日当たり50～77回、火山性微動は0～2回観測された。

### ● 三宅島 [地震・空振・火山ガス]

12日03時46分頃からやや低周波の地震が増加し、05時23分及び05時24分には空振を伴う低周波地震が発生した。05時23分の地震では三宅村神着及び三宅村坪田で震度1、05時24分の地震では三宅村神着で震度1が観測された。その後地震は減少した。この間、噴煙活動等その他の火山活動に特に変化はみられなかった。

地震は前述の12日に59回とやや多く観測されたが、その他の日は0～4回と少ない状態であった。

白色噴煙は山頂火口より連続して噴出しており、最高で火口縁上約700mまで上がった。

### ● 福德岡ノ場 [変色水] <期間外>

海上保安庁が3月9日(期間外)に行った上空からの調査によると、福德岡ノ場から南へ延びる長さ約1,500m、幅約300mの黄緑色変色水が確認された。福德岡ノ場周辺で変色水が確認されたのは2月1日以来である。

### ● 阿蘇山 [熱・土砂噴出・微動] レベル2 (やや活発な火山活動)

16日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は灰色、量は約3割で、表面温度は77℃と上昇し依然高い状態であった(前期間は72℃)。湯だまりの中央部付近で高さ7～8m程度、その他数箇所では高さ1～3mの土砂噴出が観測された。

噴煙は白色で噴煙の高さの最高は火口縁上約400m(前期間400m)であった。

孤立型微動の発生回数は463回であった(前期間は395回)。火山性微動の発生はなかった(前期間もなし)。

地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

### ● 霧島山 [噴気・微動] 御鉢：レベル2 (やや活発な火山活動)・新燃岳：レベル1 (静穏な火山活動)

御鉢火口の噴気活動はやや活発で、13～14日に時々噴気が監視カメラで観測され、高さの最高は火口縁上約300mであった。また、11日及び16日に継続時間の短い火山性微動が各1回発生したが、噴気活動、地震活動等その他の観測データに特に変化はなかった。

### ◇ 桜島 レベル2 (比較的静穏な噴火活動)

期間中、噴火はなかった(前期間もなし)。噴煙活動も低調で、鹿児島地方気象台(南岳の西南西約11km)で降灰は観測されなかった(前期間もなし)。

### ◇ 薩摩硫黄島 レベル2 (やや活発な火山活動)

地震活動、噴煙活動等の観測データには特段の変化はなかった。

### ● 口永良部島 [地震・微動] レベル2 (やや活発な火山活動)

火山性地震の活動はやや活発な状態が続いており、今期間も時々発生し、期間中の回数は29回であった(前期間は37回)。火山性微動は、継続時間の短いものが時々発生し、期間中の回数は9回であ

った（前期間は2回）。監視カメラ（新岳の北西約4kmに設置）による観測では、新岳及び古岳の噴気活動に変化はなかった。

**▲ 諏訪之瀬島 [噴火・微動] レベル3 (小規模な噴火が発生)**

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、10日に火山灰を含む噴煙が中之島方向に流れているのが確認され、13日には火山灰を含む噴煙が火口縁上高さ約200mで南東に流れているのが確認された。火山性微動が10～15日に断続的に観測された。

**表2 火山情報発表状況**

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
浅間山	火山観測情報第72号 ↓ (1日1回発表)	10日 16:00 ↓	前日及び当日00時～15時の活動状況(噴火はなし、噴煙・火映・鳴動・地震・微動・地殻変動の状況及び上空の風の予想)。レベルは3。
	火山観測情報第78号	16日 16:00	
三宅島	火山観測情報第135号 ↓ (1日2回発表)	10日 09:30 ↓	前日15時～当日09時もしくは当日09～15時の活動状況、及び上空の予想。
	火山観測情報第148号	16日 16:30	
阿蘇山	火山観測情報第10号	11日 11:00	火山活動は引き続きやや活発(湯だまり量減少、中規模な土砂噴出発生、地震やや多い)。レベルは2。
口永良部島	火山観測情報第12号	11日 14:00	やや活発な火山活動継続。上空からの観測結果。レベルは2。